

平成25年度第1回長浜市健康づくり推進協議会要点録

1. 出席者

委員:13名出席、1名欠席

事務局:部長他6名

2. 協議内容

挨拶 副市長

(1) 健康ながはま21改訂内容

第2期計画は1市6町合併に伴い、平成23年度から24年度までの2年間の計画であり、それをベースに、第3期計画は平成24年度の国と県の計画改定を加味し、改定するものであることに同意。

(2) 第2期計画進捗状況と国県の計画について

① 「健康寿命」は今後の健康づくりの大きな課題であるので国県の計画も目標数値化されていることから市の指標も必要である。「健康格差の縮小」については、国は日常生活に制限のない期間の平均の都道府県格差の縮小としているが、県は示していない。県は、「健康寿命の延伸」を国民生活基礎調査の「日常生活に制限のない期間の平均」と健康支援自立調査の「日常生活動作が自立している期間(要介護2～5を除く人)の平均の延伸」としている。国が言う、健康格差、所得格差をどうしていくかを検討してください。

→(回答) 市として、健康格差、健康寿命について、素案作成時までに検討します。

② こころの健康の分野で、国や県は指標として「自殺者数」をあげているが、市も検討されてはいいかがか。

→(回答) 自殺者数は把握しているので、素案作成時までに検討します。

③ 塩分の摂取量の目標値は、第2期計画時より、現在は低くなっているので、国県の目標値と同じにするべきである。

→(回答) 現状値は、平成22年の県の栄養マップ調査結果であるが、市単独での調査は難しく、県の平成27年度の次回調査をもって現状を把握する。目標値は、今回の国県の指標を用います。

④ 子宮頸がんワクチンに関する指標があるが、副作用のため、本年6月、国は定期接種として推奨しないとされたので、市の計画として数値目標を上げることは、控えた方がよいのではないか。

→(回答) 積極的勧奨となると目標にはあげられないので、第3期の計画の目標から外します。